

第11回 介護・医療連携推進会議 議事録

ステップこはま24hケアステーション

開催日時：平成31年1月24日（木）14時～15時

開催場所：介護老人保健施設 会議室

出席者：(医師会)、(自治会長)、(地区民生児童委員副会長)、
(地域包括支援センター)、(連携訪問看護ステーション)、
(事業所出席者) 副課長、管理者、計画作成責任者

欠席者：(家族)、(市介護保険課)

議題内容

1、定期巡回の運営実績報告

7月以降の平均利用人数18名、終了者（在宅困難、骨折にて入院した後、リハビリ施設入所）あり、10月の時点で16名となる。その後、新規利用者も増え12月で18名。年末より、重度の利用者が増え、介護度3.2で増えている。

今後、新規2名開始予定。1月には20名の利用者となる見込み。在宅生活を安心して穏やかに過ごせるよう他の職種と連携し、サポートしていく。12月の時点で定期巡回を始めたいと2事業所の応募があるらしい。

利用者1名、転倒（座り込み）の繰り返し、レベル低下、認知症進行。サービス担当者会議開催し、活動範囲を狭くする事により転倒のリスクを回避する。ポータブルトイレ導入と手摺りを設置し、ヘルパーの訪問回数を増やす。本人より、独居で「さみしい」「つらい」との発言もあり、娘様は施設の検討もされているとのこと。

(地区民生児童委員副会長)

緊急通報は自ら押せないのか？

(管理者)

本人は、緊急通報を押すことの理解が乏しく、娘には連絡することが可能な為、緊急に何かあった場合は、娘より連絡がある。

2、自己評価の報告

I-3 11月に常勤9名全員、痰吸引研修終了。

I-5 12/13 合同カンファ実施(ケースカンファ)

I-9 12月 ソフトバンク 防犯ブザーの通信障害あり、代替出来るものを使用する→検討して欲しいと業者にお伝えする。

I-15 サービス提供は出来ているが、訪問介護計画作成の更新・交付が遅れている。

I-19 説明は出来ているが、適宜書類の更新がされていない。

(医師会)

定期巡回の需要は？

(管理者)

需要はあるが対応ができない状況。市役所に問い合わせるも、事業所側と市役所側との温度差がある。こちらとしても定期巡回をもっとアピールしていく働きかけが必要。

(連携訪問看護ステーション)

～連携先定期巡回事業所との情報共有について～

月に1回合同会議を行い情報共有を行っている。ヘルパーと同行訪問し、移乗方法、褥瘡の方の排泄介助方法や安楽な体位方法など指導しています。また、看護師とヘルパーとの情報が利用者や家族にも確認できるよう、アプリを活用してもらっています。

(地域包括支援センター)

業務過多について、記録に時間を要するのであれば、記録が楽になるような（例えば、ワンクリックで出来る）簡素化出来ないか？他の事業所ではどうしているのか？参考にしてみてはどうか。

(管理者)

定期巡回に特化したソフトがとても少ない。もう少し現ソフトウェアの活用や、事務内容の簡略化が出来るか検討が必要。

次回開催予定 平成31年 7 月 25日（木） 14時～15時半
会議室にて